



### 棄権者を見る

#### 職業別に見る

生活程度も二段に分けて

平署管内に於ける縣議選舉の棄権者三千六百六十八人を各職業別に見ると農業の千三百八十五人が最高を示し土工坑夫の六百八十八人が第二位となつてゐるが棄権者の生活程度を上流、中流、下流に區分して左の如く上流百廿八名、中流七百五十名、下流四百五十二名が尊い一票を放棄した譯である

(農業)上九四 中四三九 下八五六(商業)上一七

中一四 下一〇四(行商)中五 下一四六(商店使用人)中二 下一五(會社員)上一二 中四 下一(職員、大工、左官)中一 下一八六(土工坑夫)中四六 下六四〇(日雇)中九 下四六四(運行業)上二 中一八 下一〇(官廳使丁)上三 中一 下一五(官吏)中七(公吏)上一 中四 其他上九 中九〇 下四五二

### 新川改修に

#### 再度の陳情

##### けふ委員上京

##### 大藏省へ出頭

既報新川改修工事は内務省豫算に編入され総工費四十萬圓、四ヶ年繼續十一年度豫算十萬圓の事業として大藏省に廻附されたが此處で握り潰されてはと青沼平町長其の他の關係者が過般上

京して省當局に陳情したが更に本二日朝の急行で青沼町長及び井上、野崎、萩原の三氏と委員五名の一行が再度上京町大藏當局に猛運動を試みた

### 豫想以上の

#### 水害慘禍に

##### 郡内の農家は

##### 憂色に包まる

全國を襲つた颶風の餘波は

連雨に悩む本郡下にも相當

被害を與へ目下石城駐在の吉成技手が水稻被害を取纏め中であつたがこの程發表された被害の状況は豫想以上の慘禍として農家を憂色に陥らしてゐるが浸水反別の主なるものは錦村の五十町歩を筆頭に山田村四十町歩、植田、勿來兩町各三十町歩、四倉五町一段二畝、

### 今度は五丁目

#### 舗装工事を着手

##### 驛前縣道が竣工して

##### 大忙の監督所

平土木監督所が八月下旬より着手した驛前より常陽銀行横通りに通ずる縣道舗装工事は去月中的の降雨續きが祟つて竣工期間が延びたので最近天候回復を待ち晝夜工事を進めた結果去る卅日漸く竣功したが後は五丁目及び紺屋町兩國道舗装工事が控へて居り所員は休む暇も

### 息も暇もない

#### 繭價高調

##### 昨日の四倉

昨日四倉市場の繭取引は總數四百五十六貫であるが依然高調を續け最高六圓七十一錢、最低五圓六十錢、馴六圓七十八錢で四十九掛である

### 平町郷軍の光榮

##### 水澤幹事も共に表彰

來る廿四日福島市に於て總裁閣院宮殿下の台臨を仰いで催される軍人後援會御親授式當日平町及び江名町分會は優良分會として表彰の榮に浴すが更に分會幹事中の功勞者として平町水澤常松氏及び江名町菅野一雄氏が表彰されると

### 強氣持續

##### 共同米入札

既報平農業倉庫の在米四百四十四俵の共同販賣は昨日午後三時から執行既記の如く降雨被害に依る減收を見越して居るので平均相場

### 平青年學校

#### 愈よ本格的授業

去る七月一日開校した平町青年學校は生徒百五十四名を擁し晝夜間の教練に精進してゐるがかねて工事中の事務室及び鏡器室も竣工したので愈々來る七日より學科授業を開始し益々内容を充實することとなつた因に學科は職業科(商事項、簿記、珠算、修身、公民)と本科

### 石城梨

#### 益々聲價を揚ぐ 殊に本年上出来

##### 平年に一割増す

石城梨の東京市場進出は年々聲價を得て増加し本年も今日より愈々出荷最盛期に入り郡産長十郎梨は陸續として列車及びトラックで都入りの最中だが郡農會から既に斡旋されて移出したのは列車で十三車トラック

### 平局の清書展

#### 入賞兒童決定

平郵便局の簡易保險事業創始記念清書展覽會は磐城高(一)學校教諭穴井喜重氏が各校選拔優秀作品のうちより嚴選の結果入賞兒童を左の通り決定した

△優秀(尋一)神公(上海)飯野シホミツエ(尋一)好

- |    |     |       |
|----|-----|-------|
| 町村 | 俵數  | 一俵相場  |
| 平  | 一一〇 | 一一、二〇 |
| 大浦 | 一五〇 | 一一、四八 |
| 草野 | 一五八 | 一一、三四 |
| 勿來 | 一一六 | 一一、二五 |

- |              |            |       |
|--------------|------------|-------|
| 間等           | 藤形光平       | 平第二原  |
| 貴美           | (尋三)神谷遠藤統雄 |       |
| 飯野           | 常陸和子(尋四)飯野 |       |
| 鈴木           | 稔          | 平第二鈴木 |
| (尋五)平第三松本英一  |            |       |
| 平第二千葉恰子(高一)神 |            |       |
| 谷澤田壽一        | 平第二佐藤      |       |
| 久子△二等(尋一)飯野ス |            |       |
| ガノトシタカ       | 平第二宮       |       |
| 川幸子(尋二)飯野直井豊 |            |       |
| 平第三矢代琴子(尋三)平 |            |       |
| 第一市原二良       | 平第二鈴       |       |
| 本知恵子(尋四)平第一川 |            |       |
| 崎繼男          | 神谷吉田キヨ     |       |
| (尋五)平第一石川榮一  |            |       |
| 平第三松崎幸子(高一)好 |            |       |
| 間高會崎金吾       | 飯野志賀       |       |
| 正子△三等(尋一)高久片 |            |       |
| 寄昭光          | 高久猪狩カネ子    |       |
| (尋二)平第一國井英吉  |            |       |
| 神谷遠藤京子(尋三)平第 |            |       |
| 三鈴木寛         | 神谷井上節子     |       |
| (尋四)神谷堀川嘉一   | 平          |       |
| 第三鯨岡美喜(尋五)好間 |            |       |
| 尋屋通          | 神谷大和田トヨ    |       |
| エ(高一)平第一片寄文夫 |            |       |
| 好間山川ナツ       |            |       |

### 舗装道路寄附

#### 平町

二丁目西村屋藥舖主鈴木堅助氏は役場前へ通ずる同店横町の延長三十六間幅一間半の舗装工事に今回平町へ百七十五圓を寄附した

### 平町人

△田町七三 館ッネ(五四)さん

### 平署員を惱ます

### 優しい水色の封筒

### 求婚の手紙が舞ひ込む

### 原文は素晴しい爆笑篇

### ▽…感傷の秋は深し

秋！感傷の秋が織りなす果  
かなくもまた朗らかな特異  
ニユース一篇——本日爽冷  
の秋風に乗つて妙齡の女性  
から平署に求婚の手紙が舞  
ひ込み、こそばしくも署員  
を悩ましてゐるが宛名は單  
に「平警察様」とのみで同封  
の彼女の寫眞は十七、八と  
も見えて微笑ましく宮城縣  
大内の消印が水色の媚やか  
な封筒にベタリと押された  
儘彼女の住所は記されてな  
くその正體は一種の謎だ、  
某署員の語るところに依る  
と過日も同様の手紙が來て  
居り會つて平署に保護を加  
へた事のある精神病者では  
ないかといふ何んにしても

原文は左の如き素晴らしい  
爆笑篇である  
(前略)私も何の御變りも  
なく暮して居りますから  
御安心下さい、晩秋蠶も  
大體上ります、熱心に貴  
方を思つてゐるので御座  
います、でも貴方は結婚  
は出来るのでございませ  
ようかね！出來るなら貴  
方とは何うしても結婚は  
致しませ、その事は良く  
御父様にお話致します、  
又一寸お願ひ致します、  
貴方も寫眞を御送り下さ  
い、御手紙を待つてませ  
う、私と私の御幸福を祈り  
ます、戀しき貴方様、淋  
しい夏より、平警察様

店主催、平町同販賣店後援  
のレイトデーは明三日正午  
と午後六時の二回平町聚樂  
館で開催されるが本邦漫談  
界の井口静波氏の「立體漫  
談」と大奇術曲藝の滿洲國  
人李彩氏等出演があると

### 紅葉の便りを

### HKから放送

と共に紅葉し秋の行樂の影しい人出を見るので仙臺  
鐵道局では十月一日より向ふ一ヶ月間夏井川溪谷の紅  
葉の美を天下に紹介することになり毎金曜日の午後七  
時ニユース放送直後仙臺放送局から夏井川溪谷並に川  
前地内の風光状況を放送してゐると

### 白水の高橋炭礦

### 坑内大出水

内郷村大字白水高橋炭礦は  
去る廿日夜より果然坑内に  
出水あり昨一日は遂に採炭  
不能に陥つたので鑛業所で  
は目下全力を盡して排水作  
業中であるが今後排水に一  
週間に要する模様なので石  
炭需要期の折柄鑛業所の打  
撃は大きい模様である

### 八十才以上の 老人約六十名

### 女子青年團が招待

### 一日を喜びの内に

平町女子青年團の敬老會は  
昨日の幹事會で来る十三日  
開催と決定當日は町内八十  
才以上の老人全部約六十名  
を平第二小學校講堂に招き  
同校児童の遊戯其の他の除  
興あり午餐を接待し記念品

### 明日平町に

### レイトデー

レイトデーは明三日正午  
と午後六時の二回平町聚樂  
館で開催されるが本邦漫談  
界の井口静波氏の「立體漫  
談」と大奇術曲藝の滿洲國  
人李彩氏等出演があると

明日のラジオ  
今晚の部  
後六、〇〇 子供の時間  
ラデオ遊び「人形ごっこ」  
向井歌女  
後六、二五 基礎英語講座  
(十) 向倉由三郎婦人の  
夕  
後七、三〇 講演「日本女  
性の鑑宮の御徳を偲び  
奉る——津治子一我國固  
有の婦徳について」大橋  
ノブ(新潟)「捨石となつ  
た人李彩氏等出演があると

明日の部  
前六、三〇 基礎ドイツ語  
講座(一〇)武内大造  
前七、〇〇 朝の修養無量  
壽經 三替偶三羽淡了壽  
京都  
前九、〇〇 衛生メモ  
前二、〇〇 家庭講座  
「報恩講に際し親鸞聖人  
の御教を語る」杜多領心  
後八、〇〇 木曜コンサート  
ALキングエンデュア  
フロリダオリヂナルエイ  
セス  
後二、〇〇 小學生の時間  
第四國語お話「電報笑話」  
大阪放送童話研究会  
後二、四〇 小學生の時間  
向齊藤教頭及び根本、遠藤  
沖原の四教諭も付添として  
參加した

明日の部  
第五國史物語「鎮西八郎  
為朝」奈良島知堂  
後四、三〇 實驗室見學  
東北帝大金屬材料研究所  
中絶  
後六、〇〇 子供の時間  
お話「秋の星」田邊一郎  
後六、二五 御陵めぐり  
「御陵墓について」渡部  
信  
後七、三〇 講演「フツ  
カ分割の歴史」村川堅固  
島磐雄他  
後八、二〇 落語「宿替へ  
笑」福亭松鶴  
後八、四〇 ラデオ風景  
「秋風聯想曲演出」土岐善  
廣

### 警女の音楽會に

### 東都名手が出演

警城高等女學校では来る七  
日午後一時より同校講堂で  
左記東都樂壇の名手を招聘  
音樂會を開催すると  
リリクソンプラノ土岐妙  
子 ヴァイオロチエリスト  
森屋比佐雄 ピアニスト  
灰田左紀子

### 小名濱町長に

### 小野氏が再選

長小野晋平氏の後任推薦の町會は本日午前十時より  
開かれたが満場一致で小野晋平氏が再選された

### 玉川の成績展

### 玉川

尋常高等小學校では来る十  
四日同校講堂で奉安庫改築  
及び講堂新築記念郡下小學  
児童成績品展を開催すると

### 兵器室の検査

平町  
は青年學校兵器室の竣工檢  
査の爲め明三日午前十時か  
ら土木委員會を開くと

### 法曹團の

### 將棋大會

### 昨日の入賞者

平區裁判所は昨日一日司法記  
念日に際し午後六時より湯  
殿山社務所で恒例の法曹團  
將棋選手權大會を開いたが  
入賞者左の如し  
(A組)一等賞澤書記 二  
等小野監督書記 三等鈴  
木書士  
(B組)一等山崎書記 二  
等香西判事 三等佐々木  
書士

### 夏井農事實行

夏井  
村は豫てより養蠶實行組合  
設立の爲め委員三十餘名を  
擧げて組合員勸誘中であつ  
たが加入者二百餘名に達し  
たので来る六日午後一時か  
ら同村小學校に於いて創立  
總會を開くと

### 吉田氏の寄附

平町  
白銀町平陽舎吉田喜代次氏  
は過般逝去した母堂の遺志

### 警中生の

### 軍隊生活

警城中學校五年生百九十二  
名は大井川、比佐庄司の各  
教官引率の下に今日午前  
八時十五分發列車で若松へ





# 明治太平記

(作) 寺島雄兵  
(監) 寺島雄兵

第二百四十回

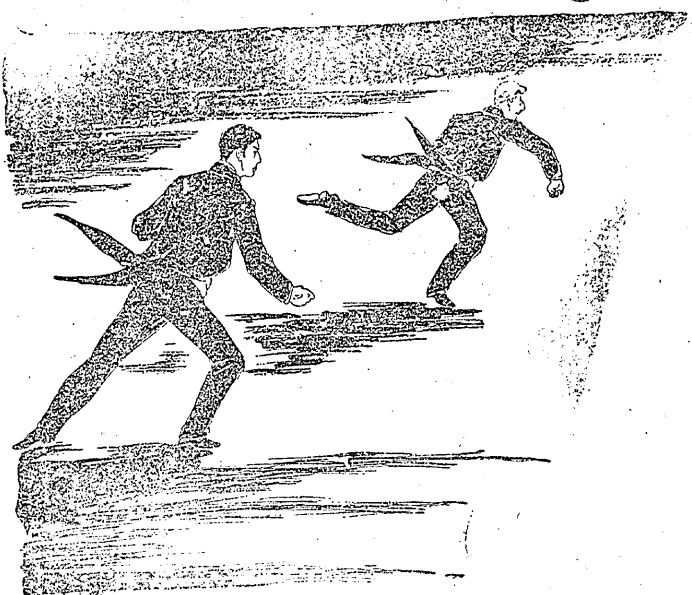
## 開化の鬼 (七)

けれど、ウエルズは、何分にも長身の西洋人、こちらは長身とはいつても、ウエルズに比較すれば、足の長さは違ふ。しかも、ウエルズは死物狂ひで、野蠻な日本人をのがれやうとするのだ。追ふものと、追はるものとの間隔は次第にのびてゆく……。

「おーい、待てい、卑怯だぞ」  
卑怯といはれて振かへるのは日本人だけのことだ。西洋人には卑怯の言葉は、身にこたへぬ。ウエルズは、ただの一度も振かへることなく、芝生を、石ころ道を、めくら滅法にかけてやがて延遠館の表玄関まで辿りついた。  
「野蠻な、ニッポンの刺客！」  
彼は、守衛たちに向つて、大聲に救ひを求めた。  
「しまった。」  
大志賀は、くちびるを噛んで立止つた。  
そのまに、ウエルズは、玄関車寄せから、すはるゝやうに館内に消えて一つ

「……」  
守衛達は、たがひに顔を見合ふだけで、返事が出来なかつた。  
「これへ西洋人を渡しなさい」  
「はッ、しかしながら……」  
「渡せ！」  
「は、はい、われは……」  
大志賀は、燕尾服のポケ

「……」  
守衛達は、たがひに顔を見合ふだけで、返事が出来なかつた。  
「これへ西洋人を渡しなさい」  
「はッ、しかしながら……」  
「渡せ！」  
「は、はい、われは……」  
大志賀は、燕尾服のポケ



ツトをさぐつて、兇器を握り、つかくと玄関先へ進んだ。  
これを見て守衛たちは「狼藉者！」  
さげんだものゝ館内から溢れる灯でみれば、燕尾

の資格が力がござりませぬ」  
「よろしい、我輩、乗込んでいつて、彼奴をひとつらへるぞ」  
「そ、それでは……」  
「迷惑をかけぬ。黙つて、

我輩を逃せ」  
大志賀は、呆れ顔の守衛たちを尻目にかけて、玄関から、館内へ靴音高く踏込んでいつた。  
踏舞はまだ終らぬ。  
管樂合奏のにぎやかな音調がこゝろをうき立たせてゐる。  
明るい灯、香水の匂……

踏舞室で、たう／＼ウエルズを見失つてしまつた。  
どの男も、フロックコートや燕尾服だつた。エナメル靴を光らし、コスメチックの髪が艶やかだつた。  
さういふ大志賀も禮装だつたから、それに気がつくつと、右手に握る兇器を、そつと、ポケットへ忍ばせてしまつた。口やしいが燕尾服の手前、角をためられる

のだ。  
踏舞室を一わたり見渡して、廊下へ出た。そこにも人の渦……。  
それから、コーヒール室、弄戲室、玉突場、休憩室をいちいち覗いてあるいたが、ウエルズに出會はなかつた。  
「バルコニーかな。」  
さうおもつて、最後にバルコニーの方へ足を向けた。  
「どうあつても、今夜こそ……」  
エナメル靴で、床板をあらわしく蹴つた。  
と、それを合圖のやうに、うしろに聲があつた。  
「大志賀君」  
あきらかに、君づけた。

「どうあつても、今夜こそ……」  
エナメル靴で、床板をあらわしく蹴つた。  
と、それを合圖のやうに、うしろに聲があつた。  
「大志賀君」  
あきらかに、君づけた。

### 外科

門 専 線 光 X  
科 線 科

上田外科病院

平町 南町  
電話 一二九番



三井タクシー

電話 六八五番

素晴らしい乗心地の!!!  
三十五年式流線型新車が  
参りました  
是非御試乗御利用の程を御願申します

平二

玉屋洋品店  
平町田町通電話五六六番

吸入用酸素素純度 99%

度量衡  
モノサシ  
マ ス  
ハカリ

計量器  
体温計  
寒暖計

●秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス

關内藥局  
電話四〇番

●寫真材料一式販賣致シマス

夜 間 診 療

胃腸科 専門  
内 科 専門

胃腸科 専門  
性病科 専門

花柳病科  
皮膚科

松村 性病胃腸科 院醫  
(平町南町一〇七番)